

針ノ木岳(2821m)山行報告

【山行日】2019年 7月 20・21(土・日)曇り一時雨

【集 合】岩舟支所 AM 4:00

【費 用】マイカー2台 : 15,100円

【メンバー】CL:大西 SL鈴木、安西、菊池、清水、
島田、五月女、田村、鶴見、福島、渡辺

【コースタイム】20 日: 岩舟支所P 4:00 = 扇沢P
7:15/7:40 ~ 大沢小屋 9:30 ~ 針ノ木小屋 13:20/14:30
~ 蓮華岳 15:30 ~ 針ノ木小屋 16:20 泊

今年の北アルプス最初の山は針ノ木岳(日本2百名山&新花の百名山)に登る山行になった。

岩舟支所を4時に出発し、佐久平PAに寄り扇沢駐車場に到着した。

無料Pに空きがあり、無事2台止められて幸先良いスタートと喜んだ。



登山口にて届けを提出し、いよいよザックの重さを感じながら参加者11名は、期待といくばくかの不安を抱きながら一步一步進めた。

前日降った雨が登山道を歩きにくくしているので、滑らないよう慎重に歩いた。

車道を4回横切り「おっとっと」行き過ぎて、少し戻って広場を大沢小屋方向に山腹を緩やかに進んだ。途中一ヶ所流れが速く水かさも増した沢を慎重に横切る。

暫くすると小屋が見え大沢小屋に着き、ここで休憩しトイレを済ませる。

山の文人、百瀬慎太郎氏のゆかりの山で(山想えば人恋しい 人想えば山恋しい)のレリーフが埋められている。

ここからは30分と言うが濡れて歩きにくく少し時間を費やしてしまった。

日本三大雪溪の一つ針ノ木雪溪に着いた。

初めて見る雪溪に皆さん目を奪われた。

慣れないアイゼン装着に、少し時間を要した。

何とか全員用意が出来雪溪を慎重に歩く。

雪溪では音もなく落石があるので、上部左右に気を配り慎重に進む。霧が雨粒のように落ちてきて、急遽レインウェア着用したが、急登に汗だくとなり途中でレインウェアを脱いだ。

アイゼンを外しやっと沢沿いの砂礫の急斜面に取付いた。



ところがこの急登で私は心配した通り、足攣りをしてしまい座り込んでしまった。



ここでゆっくり出来ないの、SLを先頭に替わり2班に分かれて峠に向かった。

針ノ木峠に出てビックリ、槍ヶ岳や薬師岳等北アルプスの絶景が迎えてくれ大感動。！！

遅れて小屋に着き受付を済ませ、予定より遅れて昼食を摂る。

それぞれ昼食を済ませ余裕の笑みが浮かんできた。峠から来週登る槍ヶ岳が眺められた。

荷物を減らしハイマツの急登を登り、往復1時間40分の蓮華岳に向かった。

思ったより良い天気になり、槍ヶ岳や薬師岳を見ながらの稜線歩きに皆さん大満足。

途中のお花畑にはミヤマキンポウゲやミネズオウ等が咲き、北アルプスの山を堪能出来た。

途中からは可憐なコマクサやキバナノコマノツメが咲き、花を楽しみに蓮華岳に登った。

山頂でバンザイをして写真を撮り、遅れながらも山頂に到着した喜びに浸った。

小屋に戻り女性たちの部屋で反省会に花が咲いた。夕食のメインは鯖の味噌煮、とても美味しく食べられた。

8時に就寝し4時起床で「おやすみなさ〜い」いつの間にか寝てしまった。



21日:針ノ木小屋4:30~針ノ木山頂5:40~針ノ木小屋6:40/7:50~大沢小屋10:30~扇沢P

11:40=大町温泉12:00/13:45=岩舟支所P17:00

朝食前に針ノ木岳登頂する為、4時30分に出発出来るよう皆さん頑張って準備をした。

外に出て「富士山が見える」との声に心が躍る。今回は天気予報が悪く、展望は期待できない

と思って来たが、予想外の好展望に大感激。

小屋の裏側から針ノ木岳に向かって登り、スバリ岳や赤沢岳等後立山連峰が素晴らしい。

皆さん頑張って針ノ木岳山頂に登頂し、まさに360度の大パノラマと念願の黒部湖と

剣・立山連峰が確認でき感激した。もっと山頂で絶景を楽しみたかったが、朝食の時間がある

ので写真を撮ったら下山する。少し遅れたが小屋に戻り、朝食を食べ出発の準備を整えて下山開始する。

ザレた急斜面を慎重に下り、雪溪に出たらアイゼンを装着し雪溪を下



って行く。アイゼン歩行に慣れ、昨日の登りよりスムーズに歩いているようす。

皆さん雪溪の景色を楽しむ余裕があり、とても楽しそうに下って行く。

雪溪下部でアイゼンを外し大沢小屋迄下り、小屋でトイレを借り小休止する。



昨日登って来た道だが、扇沢まで少々苦勞しながら下った。

大町温泉薬師の湯で温泉に浸かり、お昼を食べ予定通りに岩舟支所に着いた。お疲れ様でした。

大西 記

【M. Sさんの感想】

初めての北アルプスは最高でした。白く長く壁のような雪溪は、辛くて苦しくて大変だったけど、走破できて爽快でした。

天気が微妙だったので、私の気分も微妙に揺れ動き、前日に大慌てで準備をしました。アイゼン使用が2回目なので、装着をして庭を歩き回ってみたのですが、10キロのザックを背負って歩けるか不安倍増でした。

出発時からもたもたしてしまい、皆さんの状況を見て同じように動けなきやと思うのですが、永遠の課題です。

扇沢から登り始め、樹林帯を進み沢を横切り岩場などを楽しく歩きました。が、雪溪を目の当たりにしたら、長く見上げるような傾斜に圧倒されました。鈴木さんのご指導で、スプーンカットに逆ハの字にフラットに足を置く、とても難しいです。何度もずり落ち、前傾姿勢になってしまうので、ザックが余計に重く感じて足が上がりなかつたです。励ましあいながら必死で皆さんについていきました。雪溪の上の方は傾斜がきつくなり、融雪がすすんでいる所は、



崩落して激流となり怖いくらいの迫力でした。

針ノ木峠からは、北アルプスの山々が絶景でぼーっといつまでも見ていたいくらいでした。

小屋で昼食後、蓮華岳に登りコマクサなど可憐な花をたくさん見ることができました。翌朝の針ノ木岳も順調に登ることができました。黒部湖は青緑で美しかった。360度の大大パノラマを目に焼き付けました。(私は菊池さんと鶴見さんに荷物を持ってもらったので手ぶらでした)



雪溪の下りも大変でした。雪はぐちゃぐちゃだし岩は滑るしで何度も滑り、手にマメができるほどストックをにぎってました。皆さんに励まされ助けられ無事下山することができ、ハイタッチでした。大町温泉に入り黒部ダムカレーを食べ、最高の山行でした。

【T. Kさんの感想】 初アイゼン、初山小屋泊。

山人クラブに入会して3ヶ月、針ノ木岳に連れて行ってもらえることに感謝をしてアイゼンと35リットルのザックを購入。不安と期待で準備を始めるが荷物が多く、水分と行動



食でザックが重いーい、アイゼンの説明書を見て練習をして大丈夫かな？不安です。

いざ、針ノ木岳へ。

スプーンカットの所を水平に着地ってむずかしい、足に手にムダな力が入って雪はツルツル滑るし急斜面だし、ときどき涼しい風に癒されて、やっと終わりましたアイゼンをはずせる場所にたどり着くことができうれしい、でも疲れた。

山小屋でのお布団は家の布団と違う、敷き布団が二人で一枚にはビックリ。山小屋の知恵なんですね、トイレは山小屋によって外にあると聞いていたけど小屋の中で良かったです。乾燥室も覗きました。夕食までみんなとおしゃべりタイムで楽しかった。夕食は山小屋はカレーライスと思っていた私ですからサバの味噌煮にビックリ、でも美味しかった、ご飯と味噌汁がおかわりできるのもうれしいですね。

部屋に戻って星は見えませんでしたでしたが寒くなくて良かった、初ヘッドライトを枕元に置いておやすみなさい、眠れないかと思っていましたが、眠れました元気に歩けそうです。朝ご飯も美味しくお代わりもしていただきました。二日目も元気に歩けました。大西さん、鈴木さん、参加した皆さん、初めての事をたくさん経験させていただきありがと一ございました。お世話になりました。これからもよろしくお願いいたします。

